

横浜鶴見北ロータリークラブ Yokohama Tsurumi North

2024年～2025年度 会長ターゲット「今日一日」



週報第22号 令和7年1月23日発行



横浜鶴見北ロータリークラブ

【事務局】横浜市鶴見区佃野町 18-11 エトワール鶴見 303号

TEL 045-575-1821 FAX 045-575-1822

Email ytnclub@gmail.com

HP <https://www.rotary-tsuruminorth.jp/>

【例会】毎週木曜日 12:30 場所 新横浜グレイスホテル

会長／生方常明 副会長／佐久間務 幹事／松田啓

第2428回例会 令和7年1月16日

斉唱 「四つのテスト」
ゲスト 西郊 良貴 様

会長報告

明日（1月17日）は阪神淡路大震災から30年の日なのだが、当日は大正大学の編入試験の準備で深夜からテレビをつけており、早朝に緊急ニュースということで地震の発生を知った。当日は倒壊した阪神高速やら火災の煙が立つ長田区の様子をずっと眺めていたのだが、数年後に灘六郷を訪れたときには街ひとつが同じ時期に建てられたとおぼしききれいな街並となっていた。それは街がひとつ無くなっていたということで、東日本大震災でなにもなくなっていた石巻を見たときの衝撃よりも大きかったかもしれない。

誕生祝

小笠原憲介 会員（1月6日）
生方 常明 会員（1月16日）



結婚記念日

合谷 保爾 会員（1月10日）
晝間 勝 会員（1月25日）



創立記念日

晝間 勝 会員（1月1日）
鈴木元一郎 会員（1月17日）

入会記念日

牧井 秀賢 会員（平成14年1月10日）
増田 泰成 会員（令和5年1月19日）
佐久間 務 会員（平成17年1月20日）

表彰

ポールハリスフェロー

松田 啓 会員
石渡 宏衛 会員（Level 3）
祝 康一 会員（Level 1）



幹事報告

- ・理事役員会のお知らせ
- ・世界大会カルガリー地区ナイトのお知らせ
- ・ハイライト米山1月号
- ・ロータリー財団「地区補助金」募集要項
- ・ロータリーカード：ポリオデーポータルサイトのお知らせ
- ・ロータリーの友表紙の募集
- ・RI 会長主催平和会議トルコイスタンブールツアーのご案内
- ・ウクライナ国立オデーサ歌劇場オーケストラ 3/2 神奈川県民ホール
- ・入会候補者リスト記入のお願い

委員会報告

【今井新一郎会員】

- ・週報表紙の写真について
- ・ロータリーの友誌1月号
- ・中西会員掲載記事について

まちがカップルを祝福 鶴見銀座商店街でパレード
 鶴見区タウンニュース

<https://search.app/PfYXqGQGzSKiJt9J8>

出席報告

会員総数 33名
 今回暫定 26 / 33 = 83.87%
 前々回確定 25 / 33 = 78.12%

ニコニコBOX

クラブ会員の為、敬称略

生方 常明 本日で満58歳となりました。例会会場では本年最初の例会となります。本年も宜しくお願い致します。

松田 啓 毎年良いこともあれば悪いこともありますね。良いことばかりとはいきませんが、悪いことがあっても乗り越えていけるように前向きな心持で今年も一年頑張ります。

上村 政二 皆様、新年おめでとうございます。昨年は大変お世話になりました。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

上澤摩壽雄 記念日の皆様おめでとうございます。遅ればせながら新年おめでとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。西郊さん卓話ありがとうございます。

赤塚 一志 各記念日の皆様おめでとうございます。西郊良貴様、本日の卓話心して拝聴させていただきます。

晝間 勝 結婚記念日をお祝い頂きありがとうございます。西郊様、卓話ありがとうございます。

合谷 保爾 結婚記念日をお祝い頂き有難うございます。西郊様、お話拝聴いたします。

上原 良廣 西郊様、本日よろしくお願ひいたします。復興には時間がかかりそうですね。

石渡 宏衛 鈴木さん先日はアサモアさんのお子様との会食楽しかったです。ありがとうございました。

今井新一郎 西郊様、本日の卓話興味深く拝聴いたします。記念日の方々、おめでとうございます。

渡辺 直昭 各記念日の皆様おめでとうございます。そして明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。

田邊 勝久 各記念日の皆様おめでとうございます。本日卓話の西郊良貴様、大変関心がありますので宜しくお願い致します。

宮田 豊和 西郊様、本日は卓話ありがとうございます。能登の復興状況などご教授いただければ幸いです。

堀野 弘樹 賀詞交換会、欠席いたしましたので本年初めての例会です。皆様、本年も宜しくお願い致します。西郊様、本日は卓話ありがとうございます。

以下同内容の為お名前のみ（敬称略）

天野直樹 野村清司 増田泰成 松阪脩平

仲亀晃央 長澤尚明 加藤進 祝康一

藤林直美 鈴木元一郎

卓 話

「能登半島地震から1年」 ～防災の基本について～



天台宗防災士協議会副会長
神奈川教区 円満寺住職
西郊 良貴 様

防災士とは

防災士とは、認定特定非営利活動法人日本防災士機構によって認定された資格です。

「自助・共助・協働を原則として、かつ、「公助」との連携充実につとめて、社会の様々な場で減災と社会の防災力向上のための活動が期待され、さらに、そのために十分な意識・知識・技能を有するものとして認められた人」のことです。

防災士とは

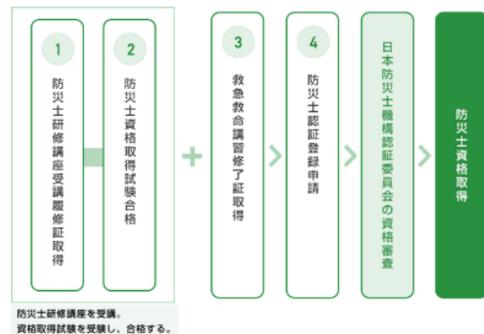
防災士の活動は、主として地震や水害、火山、噴火、土砂災害などの災害において、公共機関や民間組織、個人と力を合わせて、以下の活動を行うことを目的としています。

平常時においては、防災意識・知識・技能を活かして、その啓発に当たるほか、大災害に備えた自助・共助活動等の訓練や、防災と救助の技術の錬磨などに取り組む。また、時には防災・救助計画の立案に参画。

防災士とは

災害時にはそれぞれの所属する団体・企業や地域などの要請により避難や救助・救命、避難所の運営などにあたり、地域自治体など公的な組織やボランティアの人たちと協働して活動。

防災士資格取得の流れ



天台宗防災士協議会とは

天台宗防災士協議会とは、東日本大震災を機に防災・減災に対する意識向上の必要性を再認識した天台宗と天台仏教青年連盟が全国26教区に最低1名の防災士資格取得者の設置を目指し、平成25年12月に共催により防災士研修講座を開催し、46名が資格取得しました。

これを受けて、有資格者であった4名を含め、防災士のネットワーク強化を目的に当協議会の設置を発願し、平成26年5月に「天台宗防災士協議会」を設立しました。

天台宗防災士協議会とは

設立以降、防災士の増員などを目指し、平成27年2月には、第2回防災士育成研修会を開催し、合計で90名を超える防災士となりました。

平成27年4月より天台宗の外郭団体として認められ、天台宗の災害対策の一翼を担っています。

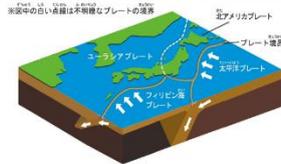
天台宗防災士協議会の活動

- 平成26年
- 台風11号・12号関東・東北豪雨
- 平成27年
- 熊本地震・台風10号九州北部豪雨
- 西日本豪雨
- 九州豪雨 台風15号・19号
- 令和元年

各災害の支援活動を独自、もしくは天台仏教青年連盟と合同で実施。

地震のキホン

日本列島は、地震の原因となるプレートが4つも集まった場所に位置しています。海側のプレートが陸側のプレートに沈み込む深い海底の溝（海溝）に囲まれています。プレート同士がぶつかる海溝は、地震の多発地帯です。日本で生活する限り、地震からは逃れられません。



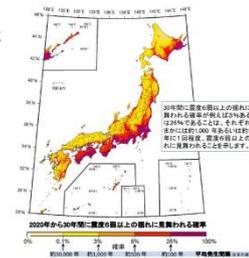
地震のキホン



地震のキホン

30年以内の発生確率

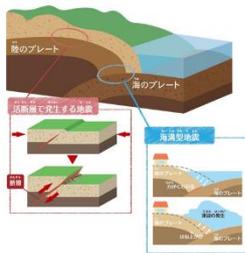
- 政府「地震調査研究推進本部」は、地震の被害を少しでも減らすため、地震の調査や研究を推進し、その成果として地震動予測地図を公表しています。



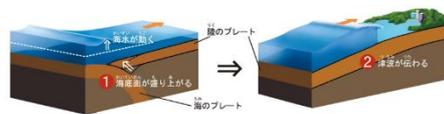
地震のキホン

地震発生の仕組みと種類

- 海溝型地震**
広範囲のプレートで動くため、規模が大きく、長い揺れになりやすい。津波が発生しやすい。ex.) 関東大震災、東日本大震災、南海トラフ地震（予想）
- 活断層で発生する地震**
地震の規模は海溝型地震より小さいが、陸地の浅い部分で発生するため、被害が大きくなりやすい。初期微動の時間が短い。ex.) 阪神・淡路大震災、熊本地震、首都直下地震（予想）



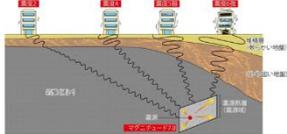
津波のキホン



津波の発生原因は海溝型地震、海底地すべり、火山の山体崩壊などがあります。この中でも最も一般的なのが海溝型地震です。海底で地震が起こると、その衝撃で膨大な量の海水が持ち上げられたり、引き下げられたりして大きな波が発生し、津波となって陸地に押し寄せます。

地震のキホン

マグニチュードと震度の違い



- マグニチュード**
地震が発するエネルギーを数値化したもので、地震の大きさ（規模）を測るものさしです。マグニチュードの数値が上がると、地震のエネルギーは32倍になります。
- 震度**
地表にある地点で観測された地震による揺れの強さを表しています。

津波のキホン

津波のスピード

津波は水深が深いところほど速度が速く、水深5000mで時速800km、水深500mで時速250km、陸地の近いところでは時速36kmほどです。



津波のキホン

津波の高さ(m)	1	2	4	8	16	32
水浸範囲	部分の破壊	沿岸破壊				
石造建物	倒壊したがる					
鉄筋コンクリートビル	倒壊したがる					
船舶	沈没					
防波堤	浸透破壊	浸透破壊	部分破壊	部分破壊	部分破壊	部分破壊
農作物	被害発生					
車						

気象庁が発表している、津波の大きさ（波高）によって、予測される被害の程度です。
津波の深さ（浸水深）が90cmを超えると流されます。

津波のキホン

種類	被害程度	発生される津波の長さ (津波の長さ予想の目安)	想定される被害と 取るべき行動
大津波	予想される津波の高さが高いところで3mを超える場合。	10m超 (10m<予想高さ)	巨大地震の被害 津波被害が全壊・流所し、人は津波による流れに巻き込まれます。命懸けで高層ビルや避難所へ避難してください。
津波	予想される津波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合。	3m (1m<予想高さ≤3m)	建物の倒壊は少ないですが津波が強い。津波被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。命懸けで高層ビルや避難所へ避難してください。
津波	予想される津波の高さが高いところで1m以下、3m以下の場合は、津波による被害のおそれがある場合。	1m (0.2m≤予想高さ≤1m)	津波の中では人は強い流れに巻き込まれ、また、巻き上げられたり漂流したりします。津波の中にいる人はたまたまに津波から上り、避難所へ避難してください。

防災の基本

1. 家族防災会議

災害時の対応や連絡方法など「災害時のわが家のルール」を家族全員で話し合っておくことが大切です。



(話し合うこと)

- ①ハザードマップや被害想定から、自分の住む地域の災害リスクを確認。
- ②大地震に備えたわが家の安全確認（自宅内の危険箇所・安全な場所は？）

防災の基本

- ③避難場所や避難所への経路を、昼間と夜間、それぞれ実際に歩いてみる。
- ④家庭内での備蓄品（期限切れの食品や薬がないかなど）と保管場所の確認。
- ⑤非常持ち出し品の準備（季節によって中身が違ってくることに留意）。
- ⑥消火用品、防災資機材などの準備。

防災の基本

- ⑦災害時の対応確認。高齢者がいる家庭ではその避難方法、ガス栓・ブレーカーの措置など。
- ⑧家族の連絡方法の確認。災害用伝言ダイヤル（171）や災害用伝言板などの安否確認ツール、SNSなどの活用。
- ⑨タイムラインを作成する。

防災の基本

2. 常時携帯ポーチ

防災グッズで必要最低限のものは常に持ち歩くようにしましょう。

3. 日々の行動

災害は、時と場所を選びません。しかし、毎日、災害時のことを考えて暮らすのは大変です。防災のために！と気合を入れすぎなくても、日々のちょっとした行動を変えてみましょう。

防災の基本

- 現金は常に財布に入れておく。
- ・出先では非常口を確認する。
- ・ガソリンは半分になったら満タンにする。
- ・多めに買い置きをする。
- ・携帯電話は毎日充電する。など

防災の基本

4. 歩きながら防災

- 通勤や通学、買い物、散歩などのついでに、少しでも意識してチェックしてみてください。
- ・古いブロック、自動販売機、古い看板、狭い路地など危険な場所を確認する。
 - ・堅牢な高い建物を探す
 - ・複数パターンの帰り方をする。
 - ・消火器、AEDの場所を確認。
 - ・避難所まで歩いてみる。
 - ・公衆電話の場所を確認する。など



防災の基本

5. 自宅の耐震性を確認

現在の建物は、建築基準法に基づいて建てられています。1981年6月以降は「新耐震基準」が設定され、震度6~7の大規模地震でも倒壊や崩壊しないように造られています。不安な場合は、耐震診断を受けるとよいでしょう。

防災の基本

6. 家の中の防災

家具を固定器具などで固定するのが基本です。また、経路をふさがないように家具の配置を考えましょう。

7. 二次災害を防ぐ

地震の後は火災の危険があります。電気火災を防ぐため、避難する前にブレーカーを落とす必要があります。一定の揺れを感じて自動的にブレーカーを落とす感震ブレーカーを設置しておくのもよいでしょう。

防災の基本

8. 備蓄品

「いつかのために」と長期保存食や保存水を買ってしまい込んでおくと、いつの間にか賞味期限が過ぎていることがあります。また、いざ食べようとしても食べ方がわからなかったり、口に合わない場合もあります。防災のために特別なものを備蓄するのではなく、いつもの物を多めに買って置き、使いながら備蓄する「ローリングストック」がおすすめです。

防災の基本

常に1週間分の食料を確保しておきましょう。停電になったら、まずは冷蔵庫の中の傷みやすいものから食べていき、次に冷凍庫、ローリングストックしていた食料の順に食べていきましょう。



9. 防災グッズ

防災グッズは、いつも使っているものにしましょう。

防災の基本

10. 水・電気・ガス・トイレ・衛生管理

水 飲料水 1人1日2L×1週間
生活用水 ポリタンクなどへの貯水
お風呂のお湯

電気 作業用・据え置き用を用意
ガス カセットコンロ・ボンベを用意
トイレ 非常用トイレを用意する。

トイレトイレットペーパーを多めに備蓄する。
衛生管理 体ふき用シート、ドライシャンプー、
口腔ケア用シートなどを用意する。



パンデミック中の災害・防災

1. パンデミック中のリスク

- ・救助活動が遅れる可能性
- ・医療機関を受診できない可能性
- ・支援やボランティアの不足
- ・避難所などでの感染拡大

パンデミック中の災害・防災

2. パンデミック下での災害に対応するために

- ・負傷しない・要救助者にならないための対策
→家具の固定やガラスの飛散防止をする、早めに避難するなどの対策で、負傷したり自力で動けなくならないようにする。
- ・もしものときに、自分たちでも救助・応急処置ができるようにする
→外部からの救援が望めない場合に備え、自分たちでもある程度の救助や応急処置ができるように、道具や医療用品を備え、練習しておく。

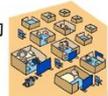
パンデミック中の災害・防災

- ・避難所へ行かなくてもすむように準備しておく
→避難所へ行く場合と行かなくていい場合を検討しておく、そのうえで、避難所へ行かずに自宅や知人宅への避難で対応できるだけの備え（備蓄など）しておく。
- ・衛生用品を多めに準備しておく
→平時より多め 最低1週間、できれば2週間分）
備蓄があると安心、マスクやアルコール消毒液、ビニール袋などは、パンデミックかどうかに関係なく、避難所での感染症対策に使えるので、平時から多めに用意しておく。

パンデミック中の災害・防災

3. 避難は分散避難

- ・自宅
→耐震化、備蓄、転倒防止
- ・親戚、知人宅（縁故避難）、ホテル
→密にならない、事前相談、備蓄を持参
- ・避難所
→衛生用品持参、感染症予防
- ・車中泊
→エンジンをかけない、安全な場所、運動
- ・テント泊
→品質の良い物、平らで給水場所に近い



パンデミック中の災害・防災

4. 感染症を広げないために必要な物

- ・マスク
- ・体温計
- ・ハンドソープ、固形石鹸
- ・アルコール消毒液
- ・台所用洗剤（中性洗剤）
- ・ビニール手袋（使い捨て）
- ・ゴム袋
- ・ティッシュペーパー
- ・ウェットシート
- ・ペーパータオル



第8回理事役員会議事録

- (1) 12月会計報告承認→承認
- (2) 年末家族親睦会決算報告→承認
- (3) 地区資金分担金振り込みについて→承認
13,500円×33名=445,500円
- (4) 米山普通寄付金振込について→承認
2,500円×33名=82,500円
- (5) その他提案事項
- ・創立記念夜間例会に米山学生達をニコニコの米山で招待する件について→承認
- ※夜間例会の詳細については別途親睦委員会にて進め、追ってお知らせする。

活 動 予 定

4月 3日(木) 創立記念例会(夜間)

例 会 予 定

1月23日(木) 新横浜グレイスホテル
1月30日(木) 新横浜グレイスホテル
2月 6日(木) 新横浜グレイスホテル
2月13日(木) 休会
2月20日(木) 新横浜グレイスホテル
2月27日(木) 新横浜グレイスホテル